

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(第4条 地震による損傷の防止 (土木構築物の解析手法・モデル精緻化))

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-2-5
提出年月日	令和5年11月2日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221212-01	1	P80まとめ資料 2.3.) 護岸コンクリートは貯留堰の間接支持機能のみならず、止水性についても必要となるものと考えられることから、その点も踏まえて評価方法を整理すること。また、構造の分かる図面も添付すること。	R4. 12. 12	回答済	R5. 7. 24 ヒアリング	取水口と貯留堰の間の止水性は、貯留堰の護岸接続部によって確保されていることから、止水性を確保するためには、護岸接続部がアンカーボルトによって取水口に確実に固定されている必要がある。 よって、取水口の損傷によりアンカーボルトの定着に影響を及ぼし、止水機能を損なうおそれがないよう、アンカーボルト定着部の取水口にひび割れが発生しないことを確認する。 また、取水口表面に通水方向のひび割れが発生した場合、引き波時にひび割れから漏水する可能性があることから、取水口表面にひび割れが発生しないことを確認する。	第557回ヒアリング 資料1-1『泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について (設計基準対象施設等) 第4条 地震による損傷の防止 (DB04 r. 3. 27)』 p. 4条-別紙6-参考1-4, 5	
221212-02	2	P79～80まとめ資料) コンクリートのせん断強度の許容限界については、女川設工認における実験結果等の先行審査実績も踏まえて、泊での適用性について整理し説明すること。	R4. 12. 12	後日回答予定				再整理した内容について、2024年3月回答予定
221212-03	3	P76まとめ資料) 減衰定数の設定値の考え方について、解析上の必要性及び解析結果への影響を踏まえて、整理し説明すること。	R4. 12. 12	後日回答予定				再整理した内容について、2024年3月回答予定
230417-08	4	PPT10ページ) 取水口平面図の貯留堰と護岸の接合部にゴム等のジョイントが入るのであれば、右の図の左右方向のみならず、奥行き方向の健全性も必要になるので、その健全性を踏まえた貯水機能に対する評価について整理し、説明すること。 <b>【第496回ヒアリング 既工認との手法の相違点の整理について】</b>	R5. 4. 17	回答済	R5. 7. 24 ヒアリング	ID : 221212-01と同様		
230417-09	5	PPT10ページ) 材料強度の適用については、女川のコンクリート骨材が異なることも踏まえて整理し、設定方針を説明すること。 <b>【第496回ヒアリング 既工認との手法の相違点の整理について】</b>	R5. 4. 17	後日回答予定				再整理した内容について、2024年3月回答予定

\* : 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230724-01	6	資料1-1 81ページ) ダムデータや女川データとの比較において、施工方法が異なることを踏まえ、泊においても圧縮強度のみならず、凍結融解に着目し水セメント比(W/C)等を整理した上でサンプル採取による確認について必要性を検討し、説明すること。(泊の設計と参考文献との関係性、泊への適用性)	R5.7.24	後日回答予定				2024年3月予定
230724-02	7	資料1-1 82,83ページ) Rayleigh 減衰の設定方法、及び減衰定数hの設定について、FLIP研究会が推奨している手法・設定値とは相違していることから、コンクリート構造物・機器への影響が過小評価とならないよう安全側に評価できることについて、設工認段階でどのような方針で検証するか説明すること。 また、検証の際には、 $\alpha$ と $\beta$ だけでなく、減衰がどのような値となるかも説明すること。	R5.7.24	後日回答予定				2024年3月予定
230724-05	8	資料1-1 78ページ) 取水口のL型擁壁の転倒・滑動評価において、現状の地震応答解析モデルに周辺の構造物等と構造物間や構造物と地盤間にジョイント要素がモデル化されていることを踏まえ、転倒・滑動評価の評価方針が適切か説明すること。	R5.7.24	後日回答予定				2024年3月予定
230724-09	9	資料1-1 60ページ) 「限界値」に関して、定義を明確にすること。 また、先行プラントの審査(設工認実積含む)や各種文献も踏まえ、設置許可段階にて示せる内容について検討の上、安全係数の設定についての妥当性を示し、説明すること。	R5.7.24	後日回答予定				2024年3月予定
230724-12	10	資料1-1 60ページ) せん断に対する安全係数について高応力繰返しの場合の20%割り増しの取り扱いについて説明すること。	R5.7.24	後日回答予定				2024年3月予定

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。